

# TOPICS

2020年 千代田学園は創立70周年を迎えます



## 70周年記念式典 開催予定

日時：2020年 11月 23日（月）

場所：SAYAKAホール（大阪狭山市文化会館）

※詳細はHPにてお知らせいたします



53期生（2019年3月卒業）のみなさんへ

## 卒業後 はじめての同窓会を ひらきます

53期生 幹事一同

11月10日（土）  
12時 生協食堂に！

食事会・ビンゴ大会  
いっぱい話♡  
15時 解散かな？



卒業して、6ヶ月近くたちました。現在の職場のこと、短大時代の思い出や、新しい出来事を話しませんか。幹事に選ばれていた私たち、6月16日と8月25日に集まって次のように決めました。声をかけあって、みんなで集まりましょう。待ってまあ〜す。当日、会費1000円を徴収します。

## 同窓会・県人会の準備がすすんでいます。

### 和歌山 県人会発足会

和歌山県在住・出身の方は、同窓会受付で県人会への登録をお願いします。当面は、会員交流・講演会等のイベントを考えています。

### 鳥取・島根 県人会

2県合同県人会の準備を進めています。お世話・お手伝いして頂ける方、ご連絡をお願いします。

県人会担当 堤 和子(旧姓：大谷)

## ひまわり会はこんな学生支援もしています。

- ①「ひまわり学業奨学金」  
在学生を対象に成績優秀でありながら経済的事情により修学困難な学生を支援する目的で、給付する奨学金制度です。卒業後の返還義務はありません。（詳しくは同窓会事務局へお問い合わせ下さい。）
- ②「カレッジメイト」  
入試の種別を問わず、授業料減額の特典を受けることができます。本学卒業生、在学生の兄弟姉妹、父母、子女、孫が対象です。（詳しくは短大事務局へお問い合わせ下さい。）

## 同窓会事務局より

※住所・姓名変更された方は、同封のハガキで同窓会へお知らせください。問い合わせがふえています。お友達の変更も教えてください。ハガキにはご記名ください。  
※3名以上でミニ同窓会を開かれたら同窓会へ通信をお願いします。  
※送ってくださった方に、粗品を進呈いたします。  
※最近、同窓会を名乗り、個人情報を引き出そうとする事態が発生しています。本同窓会は、個人に対してそのような行為は一切行なっていません。  
※不審な問い合わせがあった場合、至急ご連絡ください。  
※同窓会だより『ひまわり会 NEWS』は就労継続支援B型事業所「なの花」さんで製作に携わっていただいています。

連絡先  
同窓会メール [dousoukai@chiyoda.ac.jp](mailto:dousoukai@chiyoda.ac.jp)  
ホームページ <http://www.chiyoda.ac.jp/dousoukai/>  
〒586-8577 大阪府河内長野市楠町西 1090 番地  
千代田学園本部気付 同窓会事務局 行  
Tel 0721-69-6120 Fax 0721-52-5782



「いいね」  
してくださいね♪

ひまわり会も  
Facebook  
に参加して  
います。



# ひまわり会NEWS

Vol.18

大阪千代田短期大学 〒586-8511 大阪府河内長野市小山田町 1685 TEL 0721-52-4141 <http://www.chiyoda.ac.jp/>

発行：ひまわり会 2019.9.20  
〒586-8577  
千代田学園 気付 同窓会事務局  
TEL:0721-69-6120 FAX:0721-52-5782  
<http://www.chiyoda.ac.jp/~dousoukai/>  
E-mail: [dousoukai@chiyoda.ac.jp](mailto:dousoukai@chiyoda.ac.jp)

## ご挨拶

学園創立70周年に向けて一歴史の重みを感じる一



大阪千代田短期大学学長  
松浦 善満



ひまわり会の皆様お変わりありませんか。本年4月に高橋 保前学長の後を継ぎ、学長に就任しました松浦 善満（大阪生まれ）です。私の専門は教育社会学で、いじめ・不登校・教師の多忙化問題などをテーマに研究してきました。本学では幼児期から学童期にかけての子どもの生活環境と学童保育に関する研究に取り組んでいます。

また、わずかな期間ですが、学生の大学生活がより充実するための生活環境の改善と先生方の教育・研究支援に力を注いでいます。

さてみなさん、千代田学園は来年、創立70周年を迎えます。一口に70年と言っても、その歴史の重みを感じないわけにゆきません。振り返ってみますと本学園は1950年(昭和25年)戦後復興期に「千代田高等学校」と「千代田学園幼稚園」を創立し、15年後の1965年(昭和40年)高度経済成長期の真ただ中、千代田短期大学を開学し、翌年には保育士資格、幼児教育免許に加え、小学校二種免許課程も開設しました。1994年(平成6年)には千代田キャンパスから現在の小山田キャンパスに全面移転しました。この間、「幼児教育学科」に並んで

「英米語学科」の設置、その後の「総合コミュニケーション学科」への転換、そして「幼児教育学科」(幼児教育コース、介護福祉コース)の一本化へとモデルチェンジをして現在に至っています。

ひまわり会は今年卒業予定の学生を含め、実に1万人を超える大きな同窓会に発展してきました。この原動力こそ皆様方一人一人の母校愛とご協力の賜物であります。ここに心から感謝の意を表します。

70周年を迎え、本学では学生の大学生活満足度アップの取り組み、幼児教育・福祉教育の質的転換を図るためのカリキュラム改革、暁光高校をはじめ大阪府、和歌山県下の高校との連携強化、高野山大学との連携事業などに力を注いでいく決意です。ぜひとも、これらの事業へのお力添えをお願い申し上げます。

最後になりましたが皆様方のご多幸を祈念致しますとともに、学園創立70周年記念レセプションへの御来校を心よりお待ちしております。



ひまわり会会長  
松原 栄子  
(幼教16期生 旧姓：西川)



会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。来年、千代田学園は70周年、母校大阪千代田短期大学は55周年を迎えます。大阪千代田短期大学(ちよたん)は、幼児教育・介護福祉コースで、専門知識と実践力、考察力あるプロフェッショナルを育てる短大として飛躍しています。

10月26日の大学祭(小山田祭)には、そんな母校の様子、

後輩の頑張っている姿を見に来てください。また、恩師や同窓生との語らいの場としていただけることを願っています。

あわせて、2年ごとに行われている、同窓会ひまわり会の総会も予定しています。是非総会に参加してください。役員一同お待ちしております。

今年度卒業生の幹事会を6月16日に開催しました。そこで平成30年度卒業生の第一回同窓会を11月10日に開催することを決めました。幹事会から連絡があると思います。楽しいひとときになりますよう願っています。

また、期生・学科の同窓会の企画には、同窓会からの補助も活用していただけているようになっていきますのでご連絡ください。まだまだ暑い日が続きます。お体ご自愛ください。

## 小山田祭&ひまわり会総会

日時 10月26日(土)

総会 13:00~13:40

〈場所〉  
短大総合館 S22教室(全日開放)  
同窓生の語らい・休憩などに  
使用できます。

◇絵本のひろば【本館入口 右】  
10:00~13:30

馴染みのある絵本や新作の絵本  
があります。お子さまと一緒に見  
きてね。

同窓会ひまわり受付  
(本館入口 左)  
9:00~13:00

参加者の方には  
ファイル・バザー券  
(500円分)進呈!



## 交通アクセス

南海高野線「千代田」駅下車  
本学への直行バスで約12分  
(午前8時~10時台に出ています)  
路線バス「②0緑ヶ丘北町」行き  
「東峯口」下車すぐ。

近鉄長野線・南海高野線  
「河内長野」駅下車  
本学への直行バスで約14分  
(午前8時台に出ています)  
路線バス「①18緑ヶ丘循環」行き  
「東峯口」下車すぐ。



大阪千代田  
短期大学

同窓会模擬店 10:00~14:00 家庭焙煎「いいたてや」200円

## ご挨拶

学校法人千代田学園 理事長  
高橋 保



ひまわり会の皆様お元気ですか。短期大学の近況とこれからについて、ご報告いたします。先ず、真先に嬉しいことから。何よりも大学に松浦 義満学長をお迎えしたことです。先生は直近まで龍谷大学教授をなさっておられましたが、以前には和歌山大学の教育学部長や同大学学長補佐を歴任されるとともに、附属小学校の校長も経験されるなど、研究と実践の両面で優れた実績を有しておられ、本学にとって願ってもない人を得ることが叶いました。清新澁刺の教員の皆さん方と相まって充実した授業が楽しみです。一方、短期大学をめぐる状況は予断を許さない厳しい環境であることも直視しなければなりません。高等学校卒業生の短期大学への進学者は、およそ5パーセント。120万人の内6万人にも満たないのです。募集停止や4年制大学への転換も相次いでいます。決して楽観はできません。私たちも覚悟を持ってこの難局に挑まねばと心しています。でも健闘している短期大学だって、一つや二つではないのです。なにが違うのでしょうか？鍵を握るのは一言でいえば、「魅力」ではないでしょうか。カリキュラムやキャンパスライフ、卒業後

の進路は言うに及ばず、何よりも学生一人一人が自分の居場所がここにはあると感じ、大学への信頼が寄せられているかどうか大きな分かれ道になるように思われます。

改めて千代田短期大学の現状を自己点検し、今後を展望しなければなりません。私たちの強みの一番。それは言うまでもなく皆さん方の存在それ自身です。50年以上の歴史に裏打ちされた1万人の卒業生こそが宝です。是非後輩を支え励ましてあげてください。来年度2020年、本学園は創立70周年を迎えます。詳細は検討中ですが、11月21日(土曜日)記憶に残る記念事業を開催したいと考えています。同窓会の皆さん、こぞって参集して頂き短期大学の底力を内外に示して欲しいと切に願っています。

そして大学の魅力の真価が問われるのは、やはり日々の教育力であることは論を待ちません。いよいよ松浦学長のリーダーシップが発揮される時です。個々の教員の研究と教育にかける情熱はどこにも負けないと自負しています。それを余すことなく学生に届けさせること。それができるかどうか問われているのです。輝く学生の笑顔を見たいとの一心で、概に満ちた学園作りに取り組んで参ります。ひまわり会の皆様方の力強いご支援をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

## 母校の先生方

### 頑張り続けている卒業生を誇りに思う

#### 幼児教育コース 鯨坂 はるよ 先生

英米語学科に教員として着任し、2000年、英米語学科を総合コミュニケーション学科に改組した際、ケアコミュニケーションコースの担当となりました。その後、こども文化コミュニケーションコース、ビジネス情報コミュニケーションコース、健康実務コースと担当し、現在、幼児教育コース担当となり、気づけば、大阪千代田短期大学の教員で一番の古株となってしまいました。



現在、生涯学習センターで実務経験者が幼稚園教諭、保育士資格取得ができる特例講座や教員免許状更新講習のお手伝いもしています。教員免許状更新講習では、仕事を元気に

頑張り続けている卒業生に会うこともでき、嬉しく思っています。総合コミュニケーション学科では幼稚園教諭免許のみ取得でき、保育士資格取得を希望しても取得できず、私は総合コミュニケーション学科担当も長かったので、そのことを、長年、申し訳なかったと思っていたので、特例講座を担当でき、幼稚園に勤め、これからも保育者として頑張っていきたいと思う卒業生が保育士を取るお手伝いができていることに喜びを感じています。頑張り続けている多くの懐かしい顔に再会し、感心し、感動し、そのような卒業生を誇りに思います。

幼児教育学科卒業生も、少数派だった総合コミュニケーション学科卒業生、英米語学科卒業生も、社会に出て様々な困難もあると思いますが、頑張してほしいと思います。

### 事務局という仕事に携わって

#### 事務局次長 中島 理生

1997年に入職して気がつけば22年、短期大学の事務局では長く教務(成績や授業にかかわる事務)に携わってきました。

長く仕事をやっている、時に学生さんたちから感謝の言葉をいただくこともあって、それが何よりの喜び...かというとは実はそうではありません。教務の仕事は学生のみなさんには直接目にとまらないところに肝があるのです。直接感謝の言葉をいただくときよりも、

例えば卒業式のあと、先生方が学生のみなさんから感謝の言葉を受けているとき、またこの学校で学んでよかったと言ってもらえた時、そういう時に自分の仕事も少しは役に立ったかなと思ってほっとします(そうでなかったときは寂しい気持ちになります)。

みなさんも、卒業して様々な進路で活躍されていることと思いますが、どんな時に喜びを感じるでしょうか。子どもたち・利用者さん・お客様たちと直接かかわる仕事、バックエンドでそれを支える仕事、さまざまな仕事にそれぞれの喜びがあることと思います。これからの学生たちがそんな喜びに出会う、その準備のために力になれたらな。と思っています。

## 卒業生の今

### 琵琶と私

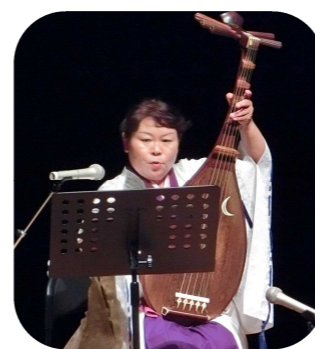
#### 江川 慶子(幼教14期生 旧姓 豊島)

卒業して40余年、今年は還暦を迎えました。当時はトシマと呼ばれ(旧姓 豊島)可愛がっていただきました。

日本の古典音楽である琵琶演奏を聞いたことのある人はまだ意外と少ないと思います。琵琶の音は、何といても他にはない和音を放ち、他の楽器を寄せ付けられない響きがあります。それが「平家物語」を印象深く響かせているのかもしれない。

人の世で、争う事ほど無常なものはないと、歌い続けている「平家物語」。長い歴史の中で語り継いできた反戦の想いを、祇園精舎では「おごれるものは久しからず」。世の中は動いているんだというメッセージを込めて語ります。

私と琵琶の出会いは、第2・4土曜日、学校が休日となった1995年頃です。岬町の淡輪公民館で行われていた、主に子ども達を対象にした自主活動グループ「琵琶の会」に母のお手伝いとして入ったのがきっかけです。子ども達



に琵琶に触れる機会をつくり、これをきっかけに琵琶に興味をもってほしい、日本の伝統文化を広めたいと始めました。結局、私も魅せられたひとりです。

熊取町の町会議員になった今でも琵琶演奏も続けています。人生、いろいろあっておもしろいですね。

### 筋トレでスッキリ、明日の活力に!

#### 中須賀 ゆかり(幼教29期生 旧姓 中野)



千代田短大を卒業して25年がたとうとしています。最初に就職したところが、堺市の無認可の共同保育所でした。当時は主に認可保育所には入れなかつた、産休明けから2歳までの子どもたちを受け入れて保育をしてきました。7年後、共同保育所から認可保育園に発展し、引き続き現在も同じ職場で働いています。

今までは主に0歳児、1歳児の担任が多かったのですが、今年は2歳児の担任で初めての持ち上がりです。子どもたちとは関係ができてきているものの、2歳児の保育はほぼ初めての状態なので、戸惑いながらも毎日子どもたちと追いかけてくをしたり、ごっこ遊びで楽しく保育しています。保育士として大変だけどやりがいも感じています。が、年々体力の衰えを感じ、2年前から筋トレを始めました。仕事終わりにジムに行ける日は通っています。クタクタに疲れているけど、マシーンを使って体を動かすことで心と体もスッキリしてストレス解消にもなっています。

これからも健康に気をつけて、毎日感謝の気持ちを忘れずに大好きな保育士の仕事を続けていきたいです。



## 通信はがきより掲載(ミニ通信)

### 幼教43期生 H・N

千代短を卒業後、保育士になりましたが、夢を諦めきれず専門学校へ行き、タレント業につきましました。芝居、モデル、歌など事務所で様々な仕事をさせて頂きました。今では一児の母。どの仕事もむずかしいと日々痛感しています。この春、フリータレントになり、山本 紘子から千生 紘子(芸名)になりました。タレント業は休業中ですが、母業も楽しいですね。

### 幼教7期生 Y・M

会報にて千代田短大の「今」を知ることができ、懐かし、又、希望を抱いております。かつての友と母校を訪ねる日を計画したく思っております。皆様の益々のご活躍を祈念いたします。

### 幼教52期生 S・A

今はヘルパーとして働いています。より良い支援のために、研修を盛んに行ったり、チームプレイで、わからないことを一緒に考えて下さったり、日々頑張っています。夏の移動支援は大変かと思いますが、頑張りたいと思います。

### 幼教53期生 N・M

4月から岸和田市にある山直南こども園で働かせて頂いております。分からないことが沢山ありますが、元気に頑張っております。

### 幼教53期生 K・T

社会人になって、2ヶ月に入りました。仕事で分からない事や大変なことばかりです。また、子どもたちや周りの先生方との関わりを築くことが、とても難しいと、しみじみと感じています。

### 幼教53期生 T・M

中百舌鳥にある保育園で働いています。しんどいことや大変なことも、たくさんありますが、毎日、子どもたちの元気な姿や、とても明るい笑顔を見ると「今日も頑張ろう!」と思えます。

### 幼教53期生 A・M

社会人になり、2ヶ月がたちますが、毎日、慣れないことが多いので大変だと感じています。日々の中で、たくさんの学びがあり、子どもたちの笑顔を見ると、いやされ、がんばっています。

